

第 29 回議会運営委員会会議記録

開 閉 会 日 時	令和 4 年 3 月 4 日（金曜）	午前 9 時 3 0 分	開会
	休 憩 10:19-35		
			午前 1 0 時 4 7 分
会議場所	委員会室<オンライン出席（O）>		
出席委員 氏 名	委員長 中村 和宏	委員 渡辺洋一郎	
	副委員長 正村紀美子	委員 黒田 栄継	
	委 員 鈴木 健充(O)	委員 常通 直人	
	委 員 中田智恵子(O)		
欠席委員 氏 名			
説明等に 出席した 者の氏名			
事務局職員	事務局長 安田 敦史	総務係長 佐藤 史彦	総務係主査 上田瑞紀

『会議に付した事件と会議結果など』

1 開 会

- ・委員長が開会を告げ、当委員会ではオンライン会議（議会委員会条例第 13 条の 2）である旨を説明し、委員 2 名（鈴木・中田委員）のオンライン出席を報告した後、事務局から本日の委員会の日程を説明する。

2 議 件

(1) 調査事項

- | | |
|--------------------------|--------|
| ア 3 月定例会議における一般質問について | 当日資料 1 |
| イ 議会だより 3 月号の編集について | 当日資料 2 |
| ウ 議会だより 4 月号の編集企画について | 資料 3 |
| エ 令和 3 年度議会費補正予算（案）について | 資料 4 |
| オ 議会報告と町民との意見交換会のまとめについて | 当日資料 5 |
| カ 令和 3 年度議員自己評価について | 資料 6 |
| キ 議会活動の外部評価の手法について | 資料 7 |
| ク 議員定数と報酬のあり方について | 資料 8 |

3 その他

- (1) 次回委員会の開催日程（予定）について
- (2) その他

2 議 件

- ア 3 月定例会議における一般質問について 当日資料 1
- ・副委員長：資料説明。3 月 3 日の通告日に 3 人。16 日（水曜）に 3 人の実施とし、17 日（木曜）は休会としたい。

- ・委員長：説明があつたが、質疑は。
(質疑無し)
- ・委員長：説明のとおり決定とし、17日は休会とする。併せて、じゃがバスへの広告掲載についてお諮りする。異議ないか？
(異議なし)
- ・委員長：決定とする。
- ・委員長：お諮りする。ここで「令和3年芽室町議会定例会3月定例会議の運営について」を調査事項として追加したい。異議ないか？
- ・(異議なし)
- ・委員長：正村副委員長に説明を求める。

令和3年芽室町議会定例会3月定例会議の運営について 当日追加資料1

- ・正村副委員長：当日追加資料1説明。会議案「世界の恒久平和を求める決議」を3月16日に提案したい旨の説明。
- ・委員長：意見・質疑はないか？
- ・(意見・質疑なし)
- ・委員長：提案通り決定する。

イ 議会だより3月号の編集について 当日資料2

- ・渡辺委員：資料説明(8ページ編集)。本日校了。
- ・委員長：意見・質疑はないか？
- ・(意見・質疑なし)
- ・委員長：説明のとおりで校了とする。

ウ 議会だより4月号の編集企画について 資料3

- ・渡辺委員：資料説明(12ページ編集)。4月5日校了予定。
- ・委員長：意見・質疑はないか？
- ・(意見・質疑なし)
- ・委員長：説明のとおり、編集を進めることとする。

エ 令和3年度議会費補正予算案について 資料4

- ・総務係長：資料説明。執行見込みによる不用額減の趣旨を説明。
- ・委員長：意見・質疑はないか？
- ・(意見・質疑なし)
- ・委員長：提案通りで決定する。

オ 議会報告と町民との意見交換会のまとめについて 当日資料5

- ・渡辺委員：第28回議運(2月21日開催)では、2月末日までに各委員会で「PTAとの意見交換会」の意見に係る取扱いを整理し、本日の議運で共通認識を図るス

スケジュールであったが、委員会協議にまだ時間を要する見込みである。ついては、本日は「意見交換会のまとめの体裁」及び議運が担う「議会報告のまとめ」について協議したい。なお、次年度以降の事業実施方法（手順）については、別途議運内で協議し整理していきたい。

- ・委員長：意見・質疑はないか？
- ・正村副委員長：渡辺委員の説明のとおり、来年度の事業のあり方について、議運での協議・検討は必須と考える。次年度の議運の活性化計画に位置付ける考えについて、共通認識を図ってはいかがか？
- ・渡辺委員：当該事業の担当としては、正村副委員長の御意見を踏まえて取り組んでいきたいと考える。
- ・委員長：他にないか？
- ・（意見・質疑なし）
- ・委員長：次年度の議運活性化計画に位置付け、協議・検討する方向とする。また、両常任委員会の整理等が完了次第、改めて議運を経て、全協で共通認識を図り、先方に「まとめ」を報告するスケジュールとする。

カ 令和3年度議員自己評価について 資料6

- ・正村副委員長：資料（根拠、経過、課題、今後の展望）を踏まえて、今年度の取組みについて協議したい。
- ・委員長：意見・質疑はないか？
- ・常通委員：「自己評価」と「条例の見直し」はセットと考える。ついては、今年度の各議員実施の自己評価の通知の際に、自己評価に際して条文のチェック（現状との整合）を意識するよう情報発信することが必要と考える。今年度は昨年度同様の実施で良いが、令和4年度以降の評価手法については、新年度早々から検討すべきである。
- ・黒田委員：新年度に向けては、評価の前提となる「目標設定のあり方」についても議論・検討すべきである。また、目標設定が不可能、難解なテーマ（条文）に係る評価の手法も検討すべきである。さらに、評価対象が「議員」と「議会」が混在しているため、その評価の手法も明確にすべきである。
- ・鈴木委員：今年度は、昨年度同様の手法で実施することが是と捉える。また、次年度以降の検討手順としては、条例改正の議論からスタートしてはと考える。
- ・中田委員：町民にとっても評価結果が分かりやすい手法を検討すべきと考える。
- ・渡辺委員：自己評価の定義（対象）が、「議員」としてと「議会」としての両面があり、評価に戸惑う場面があるのは実感である。ついては、今回の評価にあたり、各議員が評価対象項目（目標設定）として、各条文の適否を念頭に置いて評価するような通知にしてはいかがか。
- ・委員長：これまでの委員の意見を踏まえると、評価にあたっての課題整理について共通認識を図るとすれば、全議員あての評価通知に、どのような「付記」が必要か？
- ・常通委員：ワンペーパーを付けてはいかがか？議運の検討経過など。

- ・渡辺委員：条例改正ありきではないと捉える。条文が評価の対象として課題があるのか？それとも条文自体が、現状の議会活動とかい離しているのか？その見極めと事前整理が前提となる。
- ・正村副委員長：過去の経過を見ても同じ議論がなされている。主たる議論（課題）は、個々の議員として評価する項目もあれば、議会全体の評価を個々の議員がする項目もある混在の切り口である。この課題整理について、議運としてこの時点で方向性を導くには時間的に困難であり、今年度の評価後に、議運内で改めて協議してはいかがか？「新たな自己評価の確立」のようなテーマを、次年度の活性化策に位置付けて、スケジュールを明確にし取り組んでいくべきと考える。
- ・委員長：他にないか？
- ・（意見・質疑なし）
- ・委員長：今年度については、前年と同様に実施する。なお、次回全協で共通認識を図り、3月下旬に各議員に発出する予定としたい。

キ 議会活動の外部評価の手法について 資料7

- ・正村副委員長：資料説明（根拠、経過、課題、今後の展望）を踏まえて、今年度の取組みについて協議したい。ポイントとしては、外部評価の手法の3案である。1点目は、個別の事業ごとに評価する手法を検討・研究すること。2点目は、議会活性化事業等（意見交換会、高校との連携事業等）について、個別に目的（目標）と成果を事前に掲げ、事業終了後に事業の参加者等に対し、評価を求める手法を検討・研究すること。3点目は、北大公共政策大学院による「研究成果」に基づく「プロジェクト評価（PDM）」の思想を参考として、新たな手法を検討・研究することである。なお、専門的知見の活用として、議会サポーター（北大山崎教授）の助言も視野に入れるものである。
- ・委員長：意見・質疑はないか？
- ・黒田委員：提案どおりで是とする。令和4年度の活性化策として取り組んでいく方向性で良いと考える。
- ・常通委員：3つの外部評価の手法案に賛成である。
- ・中田委員：私も同様に賛成である。
- ・渡辺委員：手法及び今後の展開について、同感であり賛成する。
- ・鈴木委員：総論として賛成である。ただ、全議員の共通認識を図る上では、より具体的な事項（いつ、だれが、なにをするのか？事業ごとの目的、目標、評価項目、成果指標の設定等）を議運内で事前に整理をすることが必須となることは認識しておくべきと考える。
- ・正村副委員長：次年度については、今件を含めて、各事業に係るスケジュール設定を早くし、活性化策の検討が深掘りできるよう、議運全体で取り組んでいきたい。
- ・委員長：他にないか？
- ・（意見・質疑なし）
- ・委員長：本日議論した内容を、次回全協において共通認識を図り、次年度に向けて取り組むことを決定する。

ク 議員定数と報酬のあり方について 資料8

- ・ 事務局長：本日は「議員報酬の検討視点」について情報共有し議論したい。1点目は報酬の「算定方式」と、2点目は「留意する事項」である。なお、クラウド内<電子図書室／芽室町資料（議会）／議員定数・報酬>に参考文献として、江藤俊昭町議会サポーターの「議員報酬等の研究成果」を保存しているので御確認いただきたい。
- ・ 委員長：各委員から意見をいただきたい。
- ・ 正村副委員長：諸手当の支給を可能とする「公選職」の規定を導入している全国の自治体議会における実績は？
- ・ 事務局長：実態を調査し、今後の協議において情報提供する。
- ・ 委員長：他にないか？
- ・ (意見・質疑なし)

3 その他

(1) 次回の委員会開催日程について

令和4年3月15日（火曜）9時30分から

(2) その他

- ・ 委員長：委員各位から「その他」はないか？
(意見なし)
- ・ 委員長：議長からないか？
- ・
- ・ 委員長：事務局からないか？
- ・ (なし)
- ・ 委員長：以上をもって委員会を閉会する。

傍聴者数	一般者	0名	報道関係者	0名	議員	0名	合計	0名
------	-----	----	-------	----	----	----	----	----

令和4年3月4日

議会運営委員会委員長 中村和宏